

回				
覧				

No.4863(63-30)  
2012.06.21(木)

## 6月一時金仮合意： < 1級から6級の支給率は 1.9か月 >

6月19日、団体交渉、並びに拡大窓口交渉が行われ、6月期一時金について仮合意しました。

6月20日の中央委員会で承認されましたので、**6月29日に支給**されます。

### ◎ 一般職（1～5級、6級総括主査）支給式

{(本給×1.9月×評価反映率)+6,500円×扶養手当人数+52470円+職務別加算} × 期間率

※評価反映率 S:1.05 A:1.03 B:1.00 C:0.97 D:0.95

※職務別加算 = {本給×(1+地域調整手当の支給割合)} × 加算率×1.9月

地域調整手当の支給割合 東京特別区：0.06 東京特別区以外の地区：0.03

加算率 3級以下：0 4,5級：0.05 6級：0.1

### ◎ 常勤職員支給式

{(本給×1.9月×評価反映率)+6,500円×扶養手当人数+14137円} × 期間率

※評価反映率 S:1.05 A:1.03 B:1.00 C:0.97 D:0.95

### ◎ 臨時職員支給式

平成23年12月2日から平成24年6月1日までの期間において

(1)出勤日数 20日以上 40日未満の者： 本給日額の7日分

(2)出勤日数 40日以上 70日未満の者： 本給日額の13日分

(3)出勤日数 70日以上 100日未満の者： 本給日額の15日分

(4)出勤日数 100日以上の場合： 本給日額の17日分

(注) 臨時用員就業規則に定める年次休暇及び特別休暇は、出勤とみなす。

### ◎ 6级以上（総括主査を除く。）の職員支給式

{(本給+職責手当) × 支給率 × 評価反映率 + 職務別加算} × 期間率

※支給率 6級：2.0053490

( 労組の要求は増額でした。昨年並みという点では、不満ですが、周囲の状況が厳しい中、昨年に準ずる回答をしたことを一定程度評価して、妥結しました。)

\*\*\*\*\*

団体交渉では、一時金のほか、給与削減問題についてやり取りがありました

< 給与削減問題： 7月実施なんてとんでもない >

機構は、一時金の交渉の中などで、国家公務員に準ずる給与削減特別措置を7月から実施したと言ってきました。大幅な給与削減提案に、そんなに早急にできるわけがありません。7月だろうと、8月だろうと今のままで合

意できるわけがありません。独立行政法人の「自律性」はどこに行ったのでしょうか。

< 機構、任期付研究員について、契約変更を要請しない >

先に報告した任期付研究員の給与削減問題について、機構は、検討の結果、契約変更はせず、契約更改時に削減を図ることに決めたと述べました。

金額が記された契約を途中で変更することは、「お願い」するにしても問題が多いという労組の指摘を認められた形になりました。今年度末までの契約の中では削減されないこととなります。ただし、これは4月から3月末までの契約の場合、今年度中には削減されないということで、削減の実施期間をずらすだけで最終的に2年間分削減されることになる可能性はあります。しかし、契約や労使関係のけじめとして、いいかげんなことをさせないということが大切です。

理化学研究所では、約2000人の任期付研究者がおり、使用者側の強硬な削減提案に大きな反発が出ています。

原研労は、任期付の常勤職員についても削減をしないことを検討するよう要求しています。

☆第64期労組役員選挙 東海地区の投票日:

不在者投票:

6月21日(木)～6月22日(金) 12時から13時、17時30分から18時30分

本投票:

6月25日(月)から6月27日(水) 10時から18時30分

場所\* 原子力科学研究所構内 労組事務所

## 原研労組事務所からのお知らせ

①「命の尊さ」、「平和の大切さ」が込められている

アンネのバラを頂きました。

②使用済み切手を集めています。ご協力をお願い致します。

集めた切手類は「社会福祉協議会」に寄付しています。